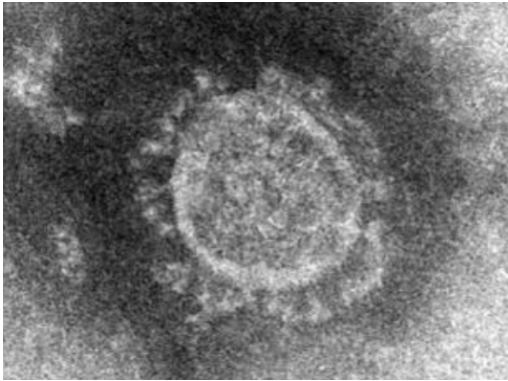


## 令和2年 年頭諸感

# コロナ（皆既日食の光環）の光と影に通じる 配置業界コロナ禍の光と影

コロナウイルス（イギリス健康保健局提供）

皆既日食と光環（コロナ）



「年頭所感」の所を諸としたのは、私だけでなく多くの配置業界の方々の年頭の思いを店舗業界の方々に伝えたいがためである。今号の記事は、業界紙「薬日新聞 11月17日号」より抜粋した。

（一社）全国配置薬協会の第4回配置販売戦略会議（八橋謙二議長）では、コロナ禍が配置販売に及ぼしている影響に関する第一線の声も紹介された。その「光と影」に関する見解は千差万別だった。しかし、当初は「影響は軽微」「むしろ配置販売の強みが再確認できた」とする見解が多かったものの、第2波、第3波の襲来とコロナ禍における経済活動の停止や停滞が長期化していることで配置得意先の家庭の生計や企業の経営状態が次第に厳しくなっているところが増えていることから、「7月頃からおかしくなってきた」など、このあとも新型コロナが収束することなく、経済活動の停滞が長引けば、さすがに売上ダウンなど配置販売業へのダメージ深刻化を心配せざるを得ない一との配置販売経営者が増えているように思われた。以下は全配協「配置販売新戦略会議」がまとめた分科会ごとの配置第一線の声。

### コロナ禍の光

【医薬品分科会】よく使って頂く得意先との絆が深まった▽事前にアポイントをとってから訪問するケースが多くなった▽医薬品売上にあまり影響なかったが(免疫力アップの)乳酸菌商品が非常によく売れた▽コロナ感染が心配で病院に行けなかったので試しに配置の風邪薬を飲んでみたとの得意先があった▽感染防止には喉を潤すことが大事と喉飴やトローチを勧めて売上落ち込みを補った▽欧米に比べ爆発的感染が起きていないことから手洗いやマスク、消毒等での予防意識が高まったことは大事で今後も『葛根湯』等による予防対策に力を入れたい

【食品・日用品分科会】□4月5月から夏場にかけて感染予防対策商品の特に免疫を高める商品が非常に売れた▽コロナ禍で訪問拒否の得意先も一部にあったが影響は殆どなかった▽退職者が減り新規雇用も増えているためここ数年のような人

員減にはなっていない▽医薬品等適正広告基準の改正で医薬部外品の効能効果表示の自由度が増しており、外出自粛が続く中、抵抗力の維持・改善、虚弱、免疫向上を謳った商品が高齢者等によく売れた▽空間除菌用のクレベリン製品が医薬品売上落ち込みをカバーしている▽予防対策で『葛根湯』がマスコミ等で取り上げられ、その記事を基に得意先への情報提供を行った▽乳酸菌製品への関心が高くヨーグルトのような安価なものよりプレミアム感ある商品が受け入れられた

【システム分科会】緊急事態宣言期間中は外出をためらい置き薬を使用したとの得意先もあり、宅配が注目されたが、各家庭を訪問して商品を届ける大切さを社員間で再確認でき、売上も 20%程度上がっている▽未病や予防対策商品は底堅い▽同業他社が行ってないことやテレワーク等で在宅率が高かったためコロナ禍でも新懸けは以前より入った▽求人募集の応募が増えた▽よく使ってもらえる得意先ほど歓迎され配置が積み重ねてきた歴史の強みを再確認できた▽『葛根湯』内服液は堅調に推移▽予防的商品として乳酸菌製剤がよく売れた

## コロナ禍の影

【医薬品分科会】数%だったが緊急事態宣言時には「訪問の控えてくれ」との得意先があった▽都市部より田舎の方が見る目が厳しかった▽点検を済ませた後で家族から配置箱の引き揚げを求められるケースがかなりあった▽新人の同行研修がやりづらかった▽濃厚接触を避けるため得意先での滞在時間が 20 分程度で短くなった▽サンプリングができずドリンクや酢飲料の売上に影響した▽感染防止対策が徹底されて風邪薬や鼻炎薬、ミニドリンク等の販売が激減した▽飲み会が減ったため胃腸薬の販売も低迷した▽配置箱を開ける機会が減り箱内商品全体の売上が落ち込んだ

【食品・日用品分科会】秋口から消費意欲に陰りが見え始めた▽説明する時間が十分に確保できずサンプリングがやりづらい▽大胆なお客様に営業社員が感染不安を感じている▽冬場に向け風邪薬の置き込みを例年行うが今期は風邪が流行らないように思われて違う商品を置き込みたい▽社内で感染者が出た場合の備えができていない▽マスコミの過熱報道でお客様がピリピリしているところもあり、会社休日を増やし5月GWは12連休にしたため売上が大きく落ち込み、現在それを取り戻しているところ▽首都圏の事業所配置ではテレワーク等で出社社員が少ないため売上が落ちた▽得意先訪問へのプレッシャーがあって営業社員がダメージを感じている様子だった

【システム分科会】配置薬の点検を「屋外でやってほしい」という得意先もあった▽ムケ得意ほど訪問を断られ3月4月は社員の感染リスクも考えてムケ得意訪問を控えた▽コロナ感染蔓延に備えた風邪薬の「先取需要」はあったがその後は需要期を迎えても風邪薬の動きが鈍い▽免疫力向上を目的に「霊芝」や「すっぽん」等の高級商品拡売を試みたが消費者は手近な食材で対応する傾向があり期待どおりではなかった▽感染予防対策が徹底されると風邪薬の売上が今後元通りにはなかなか戻らないように思ってしまう▽除菌関係の商材をかき集めようとしたが多くは仕入れることができなかった▽風邪薬・鎮痛剤・胃腸薬が苦戦している

日食は前後約2時間、皆既日食は2分間の現象という。コロナ禍はその発症から1年強経過した。世界が快晴の晴天に早く戻って貰いたいというのが、所感である。